

主な記事

- ・アルコールチェッカーの使用義務延期へ 2面
- ・肥料高騰対策内容決定 3面
- ・福島／岡山中古農機フェア開催 4面
- ・技能検定試験問題と正解6－7面

第
713
号

全農機商報

昭和38年8月20日第三種郵便物認可

令和4年8月15日(月曜日)
毎月1回15日発行

発行所
全国農業機械商業協同組合連合会
〒101-0025
東京都千代田区神田佐久間町2の6
森芳ビル4階 電話03(3863)7788(代)
編集発行人 田中宏樹 FAX03(3863)7785
購読料 1ヵ月100円(送料共)
URL <http://www.zennouki.org>



前日の準備を終えて

売上1億円を達成 節目に花を添える大台突破

福島県農業機械商業協同組合は7月22日と23日の2日間、大玉村にある大型ショッピンセンター「プラント5」の特設駐車場場で第20回中古農機フェアを開催した。昨年は新型コロナウイルスの影響で販社は不参加となり、農業資材展も中止して行ったが、今年は販社・農業資材展揃い踏みで、3年ぶりにフルバージョンでの開催となった。初日はあいにくの雨に見舞われたものの多くの来場者で賑わい、売上金額は大台の1億円を突破、節目の20回目に花を添えた。



YANMAR

収穫の「自動化」で、 手放しの歓びを。

ほ場の約9割^{*}を自動操舵で作業できる

直進、刈取昇降、旋回、糞排出の移動まで自動
糞のロスを抑えた自動ロス制御

※面積0.92ha(122m×76m)のほ場でのヤンマー独自テストによる実測値。



プロモーション動画



製品情報



Facebook

SMARTPILOT YH6115 オートコンバイン

ヤンマーアグリ株式会社 www.yanmar.com

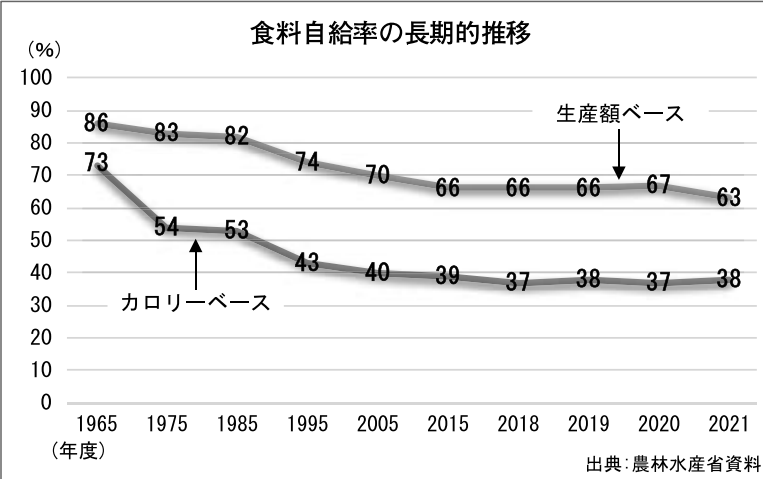
カロリーベースは微増も 生産額ベースは過去最低

2021年度食料自給率

農林水産省は8月5日、2021年度の食料自給率を公表した。カロリーベースは過去最低だった前年度から1ポイント上昇して38%。一方、生産額ベースは前年度を4ポイント下回り、過去最低の63%となった。政府は30年度に食料自給率をカロリーベースで45%、生産額ベースで75%とする目標を掲げているが、その差は依然として大きいままだ。

▽カロリーベースは微増
小麦・大豆の生産増と米の需要回復で
カロリーベースの食料自給率は過去最低だった前年度より1ポイント高くなり38%だった。主食用米から小麦・大豆への転作奨励が進み、作付面積・単収ともに増加したことや、新型コロナウイルスの蔓延と緊急事態宣言などの影響で下火となっていた外食産業での米の需要回復等が前年度から上向いたことが要因。また、飼料自給率を反映しないカロリーベースの食料国産率も、前年度より1ポイント高い47%となった。なお、飼料自給率は前年度と同じ25%だった。

▽生産額ベースは過去最低
輸入品の価格上昇と米・野菜の国産単価低下で
生産額ベースの食料自給率は前年度より4ポイント低い63%で、過去最低となった。国際的な穀物価格や海上運賃の上昇等により、畜産物の飼料輸入額や油脂類・でん粉等の原料輸入額が増加したことで、肉類や魚介類の輸入単価が上昇したことで、米や野菜の国産単



価が低下したこと等が影響し、前年度より低下した。また、飼料自給率を反映しない生産額ベースの食料国産率も、前年度より2ポイント低い69%となった。穀物や飼料の輸入価格、運賃の上昇がロシ



第2次岸田改造内閣

が8月10日スタートした。岸田文雄首相を含む平均年齢は62.7歳。昨年10月の発足時点の61.8歳を約1歳上回った。平均年齢は菅内閣の60.38歳や最後の安倍内閣の61.55歳よりも高くなった。

戦後77年間で誕生した内閣は、東久邇宮稔彦王内閣(45年8月)から菅義偉内閣(20年9月)までで105ある。このうち、内閣の掲載された。この特集

世代交代

平均年齢が最も若いのは48年に発足した吉田内閣の55.76歳。逆に、平均年齢が最も高いのは00年7月に発足した第2次森喜朗内閣の66.2歳。戦後77年、閣僚の半数以上を50代以下で占めた内閣は20程度。全体の2割にも満たない。ましてや、40代以下が半数を占めた内閣はひとつもない。

「週刊現代(22年5月12日号)」にカリスと老害の境界線「名経営者のジレンマに迫る」という特集記事が掲載された。この特集を占める高齢社会だ。

当然、経営者も高齢化している。東京商工リサーチが20年12月に約400万社を調査したところ、21年の社長の平均年齢は調査を開始した09年以降で最高の62.77歳。調査開始か

「週刊現代(22年5月12日号)」にカリスと老害の境界線「名経営者のジレンマに迫る」という特集記事が掲載された。この特集を占める高齢社会だ。

で最も高く、60代も23.2%だった。背景には高齢の社長は成功体験に捉われ長期ビジョンを描きにくくなり、設備投資や経営改善に消極的になりやすいことがあるようだ。

永守氏も柳井氏も、前年撤回で最前線に数年で復帰している。自分の思い描くやり方・方向性と違ったのだから。しかし、人に任せたらやり方が変わるのには当然だ。彼らも若い時には失敗という経験をしてきたはず。その経験があつての今なのにな、どうして次世代に

ア・ウクライナの情勢により今後も改善の見通しが見えないため、さらに悪化する可能性がある。

生産額ベースの食料自給率は、輸入原料額などが増加すると低下する。しかし、今回の結果に反映されているのは昨年3月までの動向。それ以降の飼料価格や輸入原材料の価格高騰が反映されるのは22年度の食料自給率となる。

▽21年度食料自給力指標 供給熱量伸びず
同省は食料自給率とあわせて、国内生産だけで1日あたり国民1

人に供給できるエネルギーをカロリーで示した「食料自給力指標」も公表している。

米・小麦中心の作付では1755kcal。農地面積が減少したものの、小麦の平均単収が増加したことにより前年度を維持した。一方、芋類中心の作付けでは2418kcal。労働力の減少、かんしよの平均単収の減少、農地面積の減少などにより、前年度から72kcal減少した。

人が体重を保つために1日に必要とする推定エネルギー量は2169kcalとされているが、日本が主食と

22年産米の作付面積 4.3万ヘクタール減

目標水準達成見込み

農林水産省は水田における作付意向について、6月末時点での主食用米の作付面積が約4.3万ヘクタール減少したと発表した。4月末時点では前年並みと回答した3県が減少に転じたほか、10県が減少割合を増やしたことで、需給均衡に必要な3.9万ヘクタールの削減を達成できた。

作柄が平年作(673万ト)であれば、23年6月末の民間在庫量は198万トとなり、米価安定の適正水準とされる180万ト200万トの範囲に収まる。

して中心的に需給している米・小麦中心の作付けでは自給できない計算になる。

同省は、食料自給率要としている。

7月15日に公表した警察庁パブリックコメントの意見募集要領の中、白ナンバー車両の酒気帯び有無の確認において「2022年10月1日から予定されていたアルコール検知器の使用義務化を当面延期する」方針が明らかにになった。

アルコール検知器の使用義務化延期へ

半導体不足で供給追いつかず

期検討の背景として、アルコール検知器の供給状況があるとして、世界的な半導体不足に加え、発注が集中したことで需要過多となり、10月1日までに

2022年6月に発生した

農作業死傷事故は40件

《農水省》
農業機械作業に係る死傷事故27件
(うち乗用型トラクタ10件)
その他13件
(うち作業者の転落・落下事故9件)

6月は16件の死傷事故を含む40件の死傷事故が報告された。報告された死亡事故は、トラクタを含む農業機械の転落・転倒によるものが9件と過半を占めた。一方で、トラクタごと道路から1.5m下の農地に転落したものの、シートベルトを装着していたため軽傷に終わった事例も報告された。なお、このトラクタには安全フレイムも付いていた。

同省は、作業の時は事前にルールを決める、草刈作業をしない時は機械停止、滑りづらい安全靴や安全対策を徹底するよ

8月のワンポイント
8月は例年、草刈りによる事故が多い。典

コスト増加分の7割補填内容決定

今年の秋肥と来年の春肥が対象

日本経済新聞社は7月30日、都道府県別農業産出額の収益性増減率結果を公表した。収益性増減率の算出は、農林水産省の作物統計調査と生産農業所得統計を用いて行い、耕地1ヘクタール当たりの都道府県別農業産出額について、2005年から20年にかけての増減率を比較した。結果は表の通りだが同紙によると、上位県はカト野菜向け生産

農業生産性 高付加価値品への切り替えで収益性向上

日本経済新聞社調べ

耕地1ヘクタール当たりの都道府県別農業産出額の2005年から20年の収益性増減率

順位	都道府県	増減率	順位	都道府県	増減率
1	群馬県	31.6%	25	兵庫県	4.3%
2	山梨県	29.0%	26	島根県	3.8%
3	長野県	26.7%	27	東京都	1.9%
4	山形県	26.1%	28	愛知県	0.7%
5	広島県	25.1%	29	神奈川県	0.1%
6	鹿児島県	25.1%	30	千葉県	-0.1%
7	和歌山県	24.7%	31	福岡県	-0.3%
8	岡山県	24.3%	32	埼玉県	-0.7%
9	青森県	23.9%	33	徳島県	-0.8%
10	高知県	22.0%	34	大分県	-1.4%
11	北海道	21.5%	35	滋賀県	-2.2%
12	長崎県	21.4%	36	佐賀県	-2.3%
13	熊本県	21.2%	37	京都府	-3.0%
14	愛媛県	17.3%	38	石川県	-3.7%
15	茨城県	14.9%	39	三重県	-4.2%
16	岩手県	12.9%	40	奈良県	-6.1%
17	宮崎県	12.4%	41	岐阜県	-6.3%
18	鳥取県	12.2%	42	福島県	-6.3%
19	栃木県	11.8%	43	山口県	-7.5%
20	香川県	10.2%	44	福井県	-9.0%
21	大阪府	8.3%	45	静岡県	-10.3%
22	沖縄県	6.8%	46	新潟県	-13.0%
23	秋田県	5.5%	47	富山県	-14.3%
24	宮城県	4.5%		全国集計	9.1%

※同じ値の場合は小数点第2位以下で順位付け

や高付加価値品種を拡大に柔軟に対応し、価格競争に負けない産品への切り替えを進めて

肥料価格高騰対策

【対象農家】
前年から2割以上の低減を2年間で取り組む農家

【対策の内容】
当年の肥料コストから一定の計算式により前年からの肥料コストの増加分を算出し、その7割を補填

当年の伝票 × 一定の係数

- ・価格上昇率：当年と前年の農業物価統計から算出
- ・コスト低減率：使用量20%削減

※ 低減に時間がかかることを考慮し、本年秋肥及び来年春肥分は10%に設定

当年の肥料コストから、前年の肥料コストの増加分を算出し、その7割を補填

【助成額の算定】
助成額＝（当年の肥料費－（当年の肥料費÷価格上昇率÷コスト低減率））×0.7

【見直しの効果】

- 申請や事務処理に係る手続きが簡略化
・ 農家は、当年の伝票のみを提出
・ 団体等は、個々の農家の事情に応じた煩雑な事務手続きが不要
- たい肥への代替など節減努力を行っても助成額が減少しないため、節減努力に向けた意欲が向上

肥料が過去最高水準に高騰する中、政府は788億円の予備費を活用した新たな肥料高騰対策を7月29日に決定した。化学肥料の2割低減に取り組む生産者が対象で、当年の肥料コストから一定の計算

肥料高騰対策

式で前年からの肥料コストの増加分を算出し、その7割を補填する。前回の同対策時の反省から、申請や事務処理手続きを簡素化し、秋肥分への助成については年内の交付を目指す。

低減を2割ではなく1割とする。

▽化学肥料2割低減の取り組みメニューは15種類

化学肥料2割低減の取り組みメニューは、

次の15種類となる。①「土壌診断による施肥設計」、②「生育診断による施肥設計」、③「地域の低投入型の施肥設計の導入」、④「堆肥の利用」、⑤「汚泥肥料の利用（下水汚泥等）」、⑥「食品残渣など国内資源の利用（④と⑤以外）」、⑦「有機質肥料（指定混合等を含む）」の利用、⑧「緑肥作物の利用」、⑨「肥料施用量の少ない品種の利用」、⑩「低成分肥料（単肥配合を含む）」の利用、⑪「可変施肥機の利用（ドローンの活用等も含む）」、⑫「局所施肥（側条施肥・うね立て同時施肥・灌注施肥等）」の利用、⑬「育苗箱（ポット苗）の活用」、⑭「化学肥料の使用量及びコスト削減の観点からの施肥量・肥料銘柄の見直し（①～⑬に係るものを除く）」、⑮「地域の

特認技術の利用（都道府県協議会で決定）。

⑮の地域特認技術の設定は「取組実施者からの認定申請に応じて都道府県協議会が都道府県の意見を聞いて認定」と「都道府県協議会自身が設定する場合」は、都道府県協議会が地方農政局等と協議した上で認定」の2パターンで決定する。

助成金を受けるには、15メニューのうちから2つ以上取り組まなければならない。また、すでに取り組んでいるメニューでも、1つ以上従来の取り組みを強化・拡大すれば対象となる。

▽提出書類は「当年の伝票」のみ

対象期間は今年の秋肥（6月～10月）と来年の春肥（11月～来年5月）。コスト増加分の7割補填は2008年にも行っているが、今回は申請や事務手続きを簡素化するため、コスト増加分の算出方法を生産者ごとから全国一律に変更する。それに伴い、生産者が提出する書類は「当年の伝票」（肥料購入時の領収証など）のみとなる。

前回は「前年の伝票」も提出し、生産者ごとに「前年」と「当年」の伝票からコスト増加分を計算したため、事務手続きに膨大な時間がかかった。

▽助成額の算定方法

生産者に支払う「コスト増加分の7割」の算出方法は次の通り。（当年の肥料費－（当年の肥料費÷価格上昇率÷使用量低減率））×0.7。

「価格上昇率」は、同省が毎月の農業物価統計を基に全国一律で算出する。秋肥については今後、6月から9月までの上昇率を考慮して決定する。次に、施肥コストの低減率を示す「使用量低減率」は、使用量を減らすのに時間がかかることを考慮して今回は1割低減とし、低減率は0.9で計算する。

※助成額の例

肥料費が50万円、価格上昇率が1.5倍だった場合。

（50万円－（50万円÷1.5÷0.9））×0.7＝約9万7400円

▽申請方法

申請は5戸以上の販売生産者で作ったグループで行う。申請の流れは「生産者→JAなど都道府県協議会」。秋肥分の申請は10月から受け付け、助成金は年内にも交付される見通し。また、春肥の申請は来年2月頃から受け付け、3月頃の交付を予定している。



ホシザキ 玄米保冷库

ペンギンっ庫

とれたてのおいしさ、そのまま低温貯蔵

玄米を常温で貯蔵すると、呼吸により栄養分が消費されてしまいます。ホシザキの玄米保冷库は15℃以下に低温貯蔵することで、その呼吸作用を抑制し、収穫時のおいしさをそのまま保つことができます。

NEW 「8 袋」タイプが加わり、商品ラインアップも充実。

玄米収納量
8袋※1



HRA-8GD1-Z

玄米収納量
6袋※1



HRA-6GD1-Z

玄米収納量
14袋※1



HRA-14GD1-Z

玄米収納量
21袋※1



HRA-21GD1-Z

玄米収納量
28袋※1



HRA-28GD1-Z

大量保管に最適なプレハブ式

0.5 坪からご要望に合わせた大きさでご提案します。



※1 収納数は袋の形状等によって異なります。この数値は横380×縦600×厚さ170 (mm) の玄米袋で算出しています。

ホシザキ株式会社

www.hoshizaki.co.jp

福島・岡山中古農機フェア開催

福島県中古農機フェア



岡山県中古農業機械モデルフェア



2022年中古農業機械フェア 成約状況

	福島県 (7/22-23開催)			岡山県 (8/5-6開催)			広島県 (6/23-24開催)			兵庫県 (7/8-9開催)		
	出展台数	成約台数	成約率	出展台数	成約台数	成約率	出展台数	成約台数	成約率	出展台数	成約台数	成約率
トラクタ	35	27	77.1%	24	13	54.2%	22	8	36.4%	53	22	41.5%
コンバイン	19	8	42.1%	27	18	66.7%	29	10	34.5%	35	17	48.6%
田植機	52	23	44.2%	35	16	45.7%	16	9	56.3%	59	20	33.9%
管理機等	36	32	88.9%	32	19	59.4%	31	11	35.5%	124	56	45.2%
ハーベスタ・バインダ	9	6	66.7%	3	3	100.0%	0	0	-	0	0	-
運搬車	14	7	50.0%	3	1	33.3%	3	2	66.7%	0	0	-
その他	208	142	68.3%	56	27	48.2%	37	9	24.3%	106	44	41.5%
合計	373	245	65.7%	180	97	53.9%	138	49	35.5%	377	159	42.2%

成約金額・前回比	¥101,258,250	135.7%	¥62,885,000	73.4%	¥29,600,000	50.9%	¥55,411,700	79.4%
----------	--------------	--------	-------------	-------	-------------	-------	-------------	-------

▽第20回福島県中古農機フェア（7月22〜23日）
今年で節目の20回目を迎えた福島県中古農機フェアは、コロナ禍前まで7年連続売上1億円を達成している全
国最大級の中古農機フェアだ。
今年の実績は、出展台数373台中成約台数は245台、売上金額は1億125万円で2年ぶりに大台を突破した。この他、農業資

過去2年間の中古農業機械フェア 成約状況

		福島県 (2020年は中止)			岡山県 (2020・21年は中止)			広島県 (2020・21年は中止)			兵庫県 (2020年は中止)		
		出展台数	成約台数	成約率	出展台数	成約台数	成約率	出展台数	成約台数	成約率	出展台数	成約台数	成約率
トラクタ	2021	51	31	60.8%	-	-	-	-	-	-	44	29	65.9%
	2019	54	37	68.5%	38	21	55.3%	59	21	35.6%	59	34	57.6%
コンバイン	2021	15	7	46.7%	-	-	-	-	-	-	49	21	42.9%
	2019	23	11	47.8%	55	30	54.5%	50	22	44.0%	81	23	28.4%
田植機	2021	24	7	29.2%	-	-	-	-	-	-	58	29	50.0%
	2019	38	21	55.3%	54	25	46.3%	48	14	29.2%	91	37	40.7%
管理機等	2021	50	26	52.0%	-	-	-	-	-	-	120	49	40.8%
	2019	33	29	87.9%	38	21	55.3%	48	12	25.0%	87	40	46.0%
ハーベスタ バインダ	2021	7	4	57.1%	-	-	-	-	-	-	0	0	-
	2019	11	6	54.5%	25	14	56.0%	3	2	66.7%	0	0	-
運搬車	2021	14	4	28.6%	-	-	-	-	-	-	0	0	-
	2019	18	10	55.6%	3	1	33.3%	4	3	75.0%	0	0	-
その他	2021	132	60	45.5%	-	-	-	-	-	-	87	26	-
	2019	229	126	55.0%	61	31	50.8%	49	24	49.0%	179	68	38.0%
合計	2021	293	139	47.4%	-	-	-	-	-	-	358	154	43.0%
	2019	406	240	59.1%	274	143	52.2%	261	98	37.5%	497	202	40.6%

成約金額・前回比	2021	¥74,632,400	67.6%	中止	-	中止	-	¥69,774,000	91.4%
	2019	¥110,392,000	93.9%	¥85,710,041	112.4%	¥58,111,000	114.2%	¥76,342,580	104.2%

材展には15社が出展し、売上金額は1517万円だった。
▽第38回岡山県中古農機モデルフェア（8月5〜6日）
2019年以来3年ぶり開催となった岡山県中古農業機械モデルフェア。
実績は、出展台数180台中成約台数は97台で売上金額は6288万円。来場者数と成約率は前回までと変わらなかったが、出展台数は前回の約65%にとどまった。長年の新車販売台数の低迷から台数確保に苦心し、特にトラコン田の減少が実績に大きく影響した。

購 買 情 報



クロスラムカバーキャンペーン

ケイエイチブイ

【キャンペーン内容】

発注単位：1枚より(但し、別途送料あり)

実施期間：2022年8月16日(火)～同10月14日(金)

価 格：通常価格の約8%引き

【対象商品】

品名	サイズ
コンバインカバー	H型・2条S型・2条L型・3条S型・3条M型 3/4条型・4条L型・5/6条S型・5/6条L型
乗用田植機カバー	4条型・5条型・6条型・8条型

㈱ケイエイチブイが、毎年恒例のクロスラムカバーキャンペーンを開催する。期間は8月16日(火)～10月14日(金)。1枚から出荷可能、5枚以上からは送料無料となる。

※トラクタ等その他農業機械カバーについて

コンバイン・乗用田植機以外の農業機械についても、特注にてご対応させていただきます。都度お見積りとなりますが、お気軽にご相談下さい。

東日興産新商品のご案内

大容量かつ高速充電 MPSシリーズ ポータブルパワーステーション



▲
MSP1500
コンパクトな軽量タイプ
アウトドアにも活躍します

バッテリー容量1920Wh
安定の大容量タイプ
MSP3000





▲
MSP2000
使いやすいコンパクトサイズ
色々な場面で活躍します

＜付属品＞
①AC充電器
②ソーラパネル充電器



＜ソーラパネル(別売)＞


仕様	MPS1500	MPS2000	MPS3000
型式	MPS1500	MPS2000	MPS3000
バッテリー容量	1344Wh	1536Wh	1920Wh
定格交流出力	1500W	2000W	3000W
出力周波数	50/60Hz切替		
充電時間 (AC充電器)	約3時間	約3時間	約4時間
サイクル回数	約2000回		
サイズ	W406×D260 × H241mm	W406×H260 × H241mm	W480×D285 × H303mm
重量	19kg	22kg	31kg

日本一のシェア・優れた品質 水内ゴム製もみすりロール



もみすりロール
最適なゴムの硬さに仕上げていますので、お米が研ぎずれを起こす事無く、粘り作業をすることが出来ます。もみすりロールのゴムは食品衛生法に適合しており、安心してご使用いただけます。



ツインロール
高速側(主軸側)に耐摩耗性の良いゴムロールを取り付ける事でゴムが左右均等に減り、長つ左右の振替作業が不要になります。激激な振替作業がなくなり「省力化」が可能です。

【もみすりロール4つの特長】

- 慣らし運転からスムーズなもみすり作業が可能
- 振替不要で時間を有効活用(ツインロール)
- 耐久性3割アップ(米の状態による)
- 安心品質のメーカー純正部品(ヤンマー・クボタ・サキ・サタケ)

＜使用上の注意＞

- ゴムの厚みが5mm程度になったら交換時期。
- 直射日光を避け、通気性の良い場所で保管すること。

＜ツインロール使用上の注意＞

- 主軸側に高耐久ロール(芯：赤色)を取り付け、副軸側に通常ロール(芯：青色)を取り付ける。
- 主軸用と副軸用の取り付けを間違えて使用すると、均等に摩耗しない。

食と農と大地のソリューションカンパニー ISEKI

速くてカンタン



かんたんに扱える操作性と、移動から刈取のトータル作業時間を短縮した高い作業能率。コストパフォーマンスと高い性能を兼ねそろえたフロンティアラピッド誕生。

ISEKIコンバイン
Frontier Rapid



HVZ220 (2条刈)



HVZ323 (3条刈)

ISEKI 井関農機株式会社



神奈川・富山県外研修会実施 京都・岡山展示会開催

教育情報活動事業の一環として、神奈川商組は福岡県にある株式会社オーレックの、富山商組は山形県にある株式会社山本製作所の工場見学をそれぞれ行った。また、京都商組は資材展示会を、岡山商組は3年ぶりに中古農業機械モデルフェアを開催した。

この他、今後の研修会や展示会の開催予定は次の通り。

◇教育情報活動事業
▽福島商組研修会
①8月24日「インボイス制度勉強会」
②11月「中小企業組合理事の役割について(役員向け勉強会)」

◇農機展示会
▽8月25～27日 岩手県全国農業機械美展示会(ツガワ未来館アピオ)
▽9月1～3日 山形県農業まつり農機ショー(国際交流プラザ山形ビッグウイング)
▽10月1～2日 愛媛県農機まつり(県農林水産研究所・県果樹研究センター)
▽10月29日～11月4日 秋田県農業機械化ショー(大仙市雄物川河川緑地公園)



山本製作所工場見学 (7月14日in山形)

富山商組



オーレック工場見学 (7月4日in福岡)

神奈川商組



(8月5～6日開催)

岡山商組



(7月15日開催)

京都商組

農フェス! 2022夏秋

農フェス!クボタバーチャル展示会

いつでもどこからでも
ご参加いただける
農業機械展示会WEBサイト

※実際のサイトデザインと一部異なる場合があります

クボタ 農フェス

検索

<https://agriculture.kubota.co.jp/noufes/11/>

開催期間: 2022年6月14日(火)～8月31日(水)

主催: 株式会社クボタ

参加方法: 上記URLまたはこちらから



注目の内容

参加無料!

▶ 新商品動画・試乗体験動画を楽しめる!

2022年6月発表の新商品を動画で一挙に紹介! 気になる商品は各コーナーでも商品情報を是非チェックしてみてください。

昨年開催の農フェスのアンケートで人気No1! の試乗体験動画コーナー。スマート農機からミニ耕うん機、なかなか試乗する機会が少ない機種も。是非、色んな機種をご体験ください!

▶ WEBセミナー開催

クボタ営農支援システムKSASの使い方、前回好評だった「はじめての農業用ドローン教室」に続く「もっと学ぼう農業用ドローン教室」など農業に携わる皆さまに役立つWEBセミナーを開催します。

▶ クボタグッズが買える!

クボタ農業機械のオリジナルグッズを取り揃えています。夏秋にオススメのグッズ満載! 農フェスでしか買えない限定品もあるので、お見逃しなく!



▶ 豪華景品が当たる! アンケート

抽選で合計111名様に当たるアンケート実施中。昼と夜、どちらも訪れると何か発見があるかも!?

株式会社クボタ

For Earth, For Life
Kubota